

合成樹脂容器の分野で独創的な歩みにより パッケージ・リノベーションを追求する先駆者

同社は、1968年創業のプラスチック成型品メーカーで、主に真空成型、射出成型による特注品の食品トレーや工業部品の搬送用トレーを製造販売している。企画・開発・金型・抜型・製造・販売に至る一貫システムで社内生産することにより、「オリジナリティと小ロット多品種」といった多様な顧客ニーズに対応、高品質・高付加価値なパッケージ・リノベーションの先駆者として高い評価と信頼を得ている。2020年には地域未来牽引企業に選定された。

所在地 石川県金沢市かたつ12番地
電話/FAX 076-238-2332/076-237-0510
URL <https://www.babakagaku.co.jp/>
代表者 代表取締役 馬場 貢

創業 1968年
資本金 3,000万円
従業員数 64人



高度なプラスチック成型加工技術と企画から製造までの工場一貫システム

同社では企画から製造・販売までの一貫した内製化を確立。品質・効率の向上のため、治工具や製販一体の管理システムも自社で開発している。食品業界は商品寿命が短く、小ロットで多種多様な商品展開を短期間で行うことが求められる。また衛生面でも異物混入について高い品質基準がある。こうしたニーズに対し、容器形状を自在に製作できる容器成型機・充填システムを開発、静電気除去装置を付与した自動裁断機で異物混入リスクを低減するなど、内製化の強みを生かし付加価値の高い製品を提供している。



多様な形状のオリジナリティ香る容器

技術を“カタチ”にしてさらなる需要獲得を目指す

顧客ニーズに対し、環境に配慮した素材を用いた機能性に優れた製品を提案するなど、付加価値向上に資する取組を行っている。また地元素材や特殊技術を活用したゼリー商品や珪藻土バスマットを商品化し、自社の技術を水平展開することで新たな需要を取り込み、地域資源のよさを県外に発信している。こうした取り組みから 25 の特許技術を取得、同社しかできない高付加価値な製品づくりに挑む。現在、食品メーカーへのトレー供給から、トレーも含めた食品製造そのものの OEM 受注も視野に準備を進めている。



水平展開で開発されたゼリー商品

働きやすい風土の醸成と健康経営を実践する

毎週の「月曜フリートーク懇談会」や隔月での「懇親会」を通じて、定着率の向上、部署を超えた知恵や知識の共有と新たな発想、人的な協力体制の強化に努めている。多能工化により互いにカバーし合える体制を構築、育休中シミュレーション等の実施により、出産・育児を行う社員と周囲の社員にきめ細かな配慮をするなど、残業削減や休暇を取得しやすい環境づくりが進んでいる。また、定期健康診断や健康セミナー、サークル活動支援等を通じた健康経営を実践し、社員のモチベーションを高めている。



金沢城リレーマラソン等のイベント参加